

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 6 年 2 月 6 日(2024.2.6)

【公開番号】特開 2022-120681(P2022-120681A)  
【公開日】令和 4 年 8 月 18 日(2022.8.18)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-151  
【出願番号】特願 2021-17739(P2021-17739)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/60(2023.01)

10

H 0 4 N 23/45(2023.01)

H 0 4 N 23/63(2023.01)

G 0 3 B 15/00(2021.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232290

H 0 4 N 5/225800

H 0 4 N 5/232220

H 0 4 N 5/232939

G 0 3 B 15/00 Q

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 1 月 29 日(2024.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

画像処理部 104 は、CPU 101 の制御により、アウトカメラ 107、標準インカメラ 109、広角インカメラ 110 による撮像で得られた画像データ、または不揮発性メモリ 103 に格納された画像データに対して、様々な画像処理を適用する。画像処理部 104 は例えば特定の機能を実現するように設計された ASIC のような専用のハードウェア回路であってよい。あるいは、画像処理部 104 は、DSP のようなプログラマブルプロセッサが不揮発性メモリ 103 に格納されたプログラムを実行することで特定の機能を実現する構成であってもよい。また、画像処理部 104 には、ディープラーニングなどの機械学習に必要な演算を高速に実行するための専用回路が含まれていてもよい。また、処理の内容によっては CPU 101 がプログラムを実行することによって画像処理部 104 の代わりに画像処理を適用してもよい。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

ここで、広角インカメラ画像を機械学習モデルに与える理由について説明する。被写体画像に映り込むのは被写体からアウトカメラ 107 方向を撮像した画像の鏡像に相当する。被写体からアウトカメラ 107 方向を撮像した画像は、インカメラで撮像される画像と有意な類似性を有する。アウトカメラ 107 で撮像された被写体画像とインカメラで撮像された撮像者およびその周囲の画像の相似性に基づいて、教師データである映り込みを除去もしくは軽減した画像に出力結果が近づくように機械学習モデルの学習を収束させるこ

50

とができる。

10

20

30

40

50